



Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

274



Contents

- キャンパス・フェスティバル・マーチ…淀彰●1
- Welcome to our library 図書館を知ろう O P A Cを使いこなそう…●2
- リトミックによる児童のコミュニケーション能力の育成…佐川静香●6
- ダンディ、マスネ、そしてピカソの署名入り本…長谷川由美子●8
- ピープル・ぴーぶる ⑦ 矢田部勁吉 国立音楽大学名誉教授1896.3.27-1980.11.26…染谷周子●9
- 図書館のう・ご・き…松浦淳子●10
- 2011年度 ばるらんど総目次…●11
- KCML**  **OPAC**について ⑥…●12
- 館長室へようこそ ④ 0(ゼロ) キロポスト…古川聡●13
- KCML**  **OPAC**について ⑥ ～続き～…●13
- CD/雑誌…出井則奈・小形桃子・山崎貴子…●14
- Information…●16

キャンパス・フェスティバル・マーチ

淀 彰

皆さんは、その昔、国立音楽大学に夜間部(二部)があったのをご存知ですか？

そこには、昼間部の吹奏楽団『ブラスオルケスタター』に負けじと、精力的に活動する『シンフォニック・ウインド・アンサンブル』がありました。

ブラスオルケスタターの定期演奏会では、アンコールの最後に必ずタイケ作曲《旧友》が演奏されていましたので、「夜間部の我々にもそんな曲が欲しい」ということで、本学のフルートの卒業生で当時新進の作曲家・藤田玄播氏に委嘱し、1973年(昭和48)10月31日に完成したのが『フェスティバル・マーチ』です。同年の『第2回シンフォニック・ウインド・アンサンブル定期演奏会』(11月16日 杉並公会堂)に於いて大阪泰久先生指揮で初演されました。これを当時のブラスオルケスタターの指揮者・大橋幸夫先生が大変気に入られ、ブラスオルケスタター用に書き直すよう作曲者にお願いしました。細部の音やテンポ表示等の改訂と、楽器編成を大編成に改編し、翌年5月10日に完成されたのが、名前も改められた『キャンパス・フェスティバル・マーチ』というわけです。この版の初演は『第15回ブラスオルケスタター定期演奏会』(昭和49年7月8日東京文化会館)で行われました。

曲は華麗なファンファーレに始まり、第1マーチ・第2マーチ・トリオと、伝統的な行進曲の形式を取ります。が、面白い試みとして、第2マーチには当時の大学生男子のみ(？)の間で広く歌われていた学生歌《チンタラ節》のメロディが使われています。

《チンタラ、カンタラ、学校サボって街中いけば、かわいいねーちゃん》がウインク飛ばす。…(略)といった歌詞なのですが、もう五十歳代以上の方しかお分かりにならないでしょうね。トリオは美しい主旋律と優雅な対旋

律が絡み合い、まさにメロディ・メーカー藤田玄播の面目躍如といったところです。コーダで第1マーチの旋律が堂々と再現され曲を閉じます。

その後、夜間部は1979年(昭和54)に廃止されましたが、『シンフォニック・ウインド・アンサンブル』は後期の吹奏楽授業のバンドの名称として残され、そのアンコールの最後には必ずこのマーチが演奏されてきました。現在でも、後期の吹奏楽の演奏会では、最後に必ずこの曲が演奏されています。一年間の活動の最後を締めくくる曲として、さまざまに思いが凝縮された熱い演奏となります。今も昔も、管打専攻学生にとつて、まさに『青春の一曲』なのです。

歴代の演奏のいくつかは、図書館で音源を聴くことが出来ます。また、生で聴いてみたいという方は、後期の1・2年生の『ウインド・シンフォニー』と、3・4年生の『シンフォニック・ウインド・アンサンブル』の演奏会にぜひ足をお運びください。若々しい澗刺とした演奏で歓迎いたします。

* 「キャンパス・フェスティバル・マーチ」(請求記号●
LP3424)

このLPレコードは、『シンフォニック・ブラス・コンサート』シリーズ(全5枚)の第1枚目として、1975年(昭和50)に日本ビクターから発売されたものです。大橋幸夫指揮/国立音楽大学ブラスオルケスタターの演奏で、もちろん『キャンパス・フェスティバル・マーチ』も収録されています。

Welcome to our Library



図書館を知ろう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
これから卒業まで、また卒業してからも利用できる図書館。なかなか頼りになります。
その頼りになるところをご紹介します。

学生証 II 図書館利用証

図書館を利用するには学生証が必要ですが、忘れると図書館に入館できません。資料や施設の利用もできませんのでご注意ください。

《学生証》

困ったときは

レファレンス・カウンター

図書館の使い方、資料の探し方、そのほか図書館に関する様々な質問にお答えします。課題へのアプローチ方法がみつからない時など気軽に相談ください。

《レファレンス・カウンター》

ＴＳＬって何

国際基督教大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学の各図書館の資料を、当館から請求して借りることができます。当館にない資料が必要な時は、TAC OPAC (TACのコンピュータ目録)でも探してみてください。

《TAC》

(多摩アカデミック・コンソーシアム)

まず、先生お薦めの本から

授業に関連する資料を推薦図書コーナーにまとめてあります。貸出期間は2週間です。

《推薦図書コーナー》

自由閲覧室

本との出会い…

先生方の特別な思い入れのある〈大切な1冊〉を展示しています。館外貸出も用意してありますのでご利用ください。紹介文は当館HPでも読むことができます。

《今月の葉コーナー》

自由閲覧室

資料を探すには

当館は閉架式なのでOPACをご利用ください。インターネット経由で学外からもアクセスすることができます。使い方が分からないときは図書館スタッフまで気軽に声をかけてください。

《OPAC》

世界中から情報収集

当館所蔵の資料だけで満足できない時は、インターネットを使って情報を集めることができます。ここではOPAC、楽曲・映像配信サービス、オンラインデータベースが利用できます。ExcelやWordも利用できます。

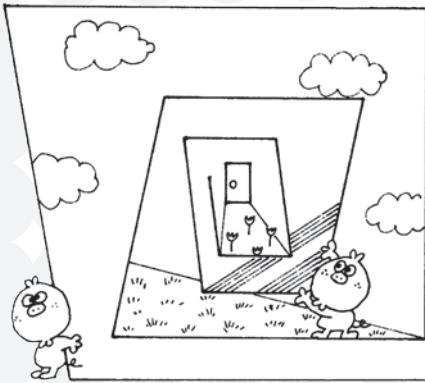
《PCコーナー》

自由閲覧室

AVは進化する

CD・DVDの視聴、OPAC、楽曲・映像配信サービスが利用できます。予約によりグループ視聴ができます。

《AV多目的室》





ベートーヴェンが触った

楽譜があるかもしれない

当館はベートーヴェンの楽譜コレクションでは世界で4番目。ベートーヴェンが生きていた時代や死後の19世紀中に刊行された楽譜が約1300点あります。マイクロフィルムでご覧ください。その他、日本音楽の貴重資料もあります。

《貴重資料》

80冊のインヴェンション

同じ曲の楽譜でも出版社によって違いがあります。この曲はこの版で、と指定されることもありま。どの専攻の人たちのご要望にも応えられるよう、ジャンルもできるだけそろえています。楽譜はおよそ13万冊所蔵しています。

《楽譜》

聴き比べをしよう

国内外で発売されたクラシック音楽のCDを中心に、7万点を所蔵しています。同じ曲でいろんな演奏家のCDがあるので、聴き比べてみてください。民俗音楽やポピュラー、コマーションの音楽や効果音などのCDもあります。

《CD》

『音楽の友』『ムジカ・ノーヴァ』

日本で出版されたクラシック音楽関係の雑誌のほとんどがそろっています。また外国の主要な音楽雑誌も受け入れています。現在約2600タイトルの雑誌があります。

《雑誌》

くこたちプリント

市販のソフトのほか、著名な先生方をお招きして開いた公開レッスンや、オーケストラやプラスチックの定期演奏会、大学院オペラ公演の記録など、ここでしか視聴できない映像資料もたくさんあります。過去の基礎ゼミDVDもあります。

《DVD・ビデオ・LD》

『謎解きはディナーのあとで』ありますか

残念ながら所蔵していません。14万冊の蔵書の大部分は、音楽関係の本と授業に必要な本。小説は自由閲覧室の新書コーナー以外にはほとんどありません。公共図書館などとうまく使い分けてください。音楽関係なら、クラシックのほかポピュラー、世界各地の伝統音楽など幅広く集めています。

《図書》

自分で管理

OPAC画面からログインすると、利用状況で資料の貸出継続(延長)・予約・出庫指示ができます。また貸出中・履歴の確認もできます。出庫指示後、名前を呼ばれたら貸出カウンターで学生証(図書館利用証)を提示してください。予約は学内メールでお知らせします。有効期間は1週間なのでご注意ください。こまめに利用状況と学内メールの確認をお願いします。

《利用状況》

資料を大切に

図書館内は飲食禁止です。資料はみんなの共有財産。飲み物や食べ物をごぼして汚してしまったり、次のひとが気持ちよく利用できません。自宅に持ち帰った時にもじゅうぶんにご注意ください。

《マナー》

コピーは...

図書館の資料を勉強のためコピーしたいときは、著作権法という法律の範囲内で行うよう気をつけてください。コピー機の側にある掲示にご注目ください。著作権に関するリーフレットも各種揃えてありますのでご参考に。

《著作権》

開架図書なら自動貸出機

自由閲覧室に置いてある文庫本・推薦図書・語学の多読本・《今月の葉》は、室外の入口脇に設置されている自動貸出機にて自分で貸出することができます。また、文庫本の情報はOPACで検索できます。返却はカウンターにお願いします。

《自動貸出機》



OPACを使いこなそう!

図書館で持っている資料を探すためのコンピュータ目録、OPAC。はじめのうちはとまどってしまう人もいるかもしれませんが、これがなかなかのすぐれもの。というわけで、ここでは、OPACを使ってできるあんなこと、こんなことの一部を書き出してみました。また、システムの特徴もご紹介します。



***楽譜やCDなどのタイトルから探す。**
「イタリア歌曲集」とか「越天楽のすべて」とか

***いろいろな国の言葉で探す。**
《フィガロの結婚》《Nozze di Figaro》
《Hochzeit des Figaro》《Marriage of Figaro》
《Figarova svatba》…

***演奏者を限定して探す。**
グルベローヴァの歌っている《魔笛》、
高橋アキの弾くサティ、小澤征爾の
振っているボストン交響楽団…

***曲のニックネームから探す。**
《第九》《悲愴》《小犬のワルツ》
《ジュピター》…

***出版社を限定して探す。**
ベータース版、ヘンレ版、
音楽之友社版、全音版…

***番号で探す。**
CDの発売番号、国際標準番号
(ISBN)、プレート番号、資料
の請求記号…

***雑誌を探す。**
『音楽之友』創刊号〈1901(明治
34)年〉、先月号の『ストリングス』、
NHKで出している雑誌…

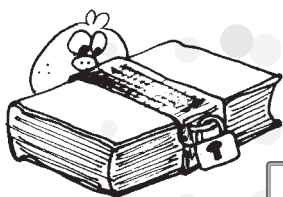
***編曲者を限定して探す。**
ブゾーニ編曲のJ. S. バッハの作
品、リムスキー=コルサコフ編曲
の《はげ山の一夜》…

***あるテーマについての本を探す。**
ピアノの指導について、バリ島の
音楽について、留学について、ヴァ
イオリン製作について…

***オペラのアリアI曲だけを探す。**
《恋とはどんなものかしら》、《歌に生き恋に生き》、
《オンブラ・マイ・フ》、《だれも寝てはならぬ》…

***翻訳された本の原書を探す。**
外国語の本の日本語訳を探す。
『モーツァルト書簡全集』、レナード・バーン
スタイン著『答えのない質問』…

***オリジナル楽器での演奏。現代楽器での演奏。**
ハープシコードで弾くバッハ、ピアノで弾くバッハ、
アルペッジオーネを使ったシューベルトのソナタ、
古楽器アンサンブル…



※校訂者を限定して探す。

パデレフスキ版のショパン、ノヴァーク版のブルックナー…

※作詞者・リブレット作者に着目して探す。

ゲーテの詩による…、谷川俊太郎の詩による…、ロレンツォ・ダ・ポンテがリブレットを書いた…



※オリジナル編成の資料だけ探す。

サン＝サーンス《白鳥》の2台ピアノとチェロの楽譜・CD、ラフマニノフ《ヴォカリーズ》の声楽の楽譜・CD…

※作曲者自身による演奏を探す。

ラヴェル、ドビュッシー、サン＝サーンス、ラフマニノフ、マーラー、カプースチン…

※編曲ものだけ探す。

吹奏楽に編曲された交響曲、ピアノで伴奏しているオペラ・アリア…

※メイキング、インタビュー、ドキュメンタリー映像を探す。

オペラのメイキング、ジャズ・プレイヤーのインタビュー、バレエダンサーのドキュメンタリー…



OPACの使い方 ここがポイント!

❶ 資料を借りるときは

「請求する」ボタンをクリックし、利用状況画面を開いて出庫指示をします。ログアウトをしたら貸出カウンターでお待ちください。

❷ 検索結果を保存したまま、別のキーワードで検索できます。

複数の検索結果を見比べて本当に必要なものを探す、といった使い方ができます。

❸ 検索結果からわかるこんなことあんなこと

所蔵情報：「請求する」… 書庫に在庫しています。貸出可能です。

「貸出中」… 現在、貸出中です。予約ができます。

種別：図書か楽譜かCDか等々、資料の種別がわかります。

資料詳細：同じ曲のCDや映像資料が複数見つかった時に、演奏者等の情報が得られます。

❹ フリーキーワード検索

簡易検索は「OPACのデータのどこかに書いてある言葉」を「書いてあるままの形」で検索するようになっています。どう探したらいいかわからない時の足がかりに便利です。

※小・中・高校の教師用指導書を探す。

他に教科書そのものも、教科書準拠CDも

※音楽家の肖像を探す。

作曲家の肖像画、ジャズ・ミュージシャンの写真、さまざまな指揮者の写真…



「こういう資料はどうやって探せばいいの?」「やってみただけどうまく探せない…」など、OPACの使い方がわからない時には、じっとひとりでも悩まずにぜひ図書館スタッフに声をかけてください。マメに質問して疑問を解決していくうちに、きっとあなたもOPACを、そして図書館を使いこなせるようになっていくことでしょう。



リトミックによる児童のコミュニケーション能力の育成

佐川 静香

(音楽教育学科音楽教育専攻・リトミック指導者コース 平成23年度卒業)

さまざまな社会問題によって、人と人とのコミュニケーションが薄れている現代。ダルクローズが考案した音楽教育法によって、児童のコミュニケーションが育成できないだろうか。

はじめに

私は、学童保育所でのアルバイトや、地域の小学校での音楽活動を通して、集団の輪に入ろうとしない児童や、乱暴な言葉や暴力によって相手を傷つけてしまう児童が多いことに気がついた。そして、児童同士が、お互いに意志や感情を理解し合ったり、伝え合ったりするといった人間関係を形成するための能力が欠如してしまつたように感じられたのである。

そこで、私自身が、音楽の知識や技術だけではなく、人とのつながりの素晴らしさを学ぶことができたリトミックを、児童のコミュニケーション能力を育成する手段として活用できないだろうかと考え、研究を行うことにした。

児童のコミュニケーション

近年、時代の変化と共に、児童のコミュニケーションの図り方は変化している。例えば、携帯電話などの情報通信の発達などにより、メッセージの伝達は容易になった。そのため、間接的な人との関わりが増加し、直接的な人との関わりは希薄化したと考えられる。さらに、ゲーム機の普及によって、児童は複数よりも個人で遊ぶ機会が多くなった。そして、集団での仲

間との関わりや、直接的な人との関わりが減少したことにより、自我の欲求を抑えることができず、自己中心的な態度が目立ち、お互いの意志や感情を伝えあつたり、理解し合う力が欠如するのではなしかと考えるようになった。しかしながら、将来、新しい環境や社会において、よりよい人間関係を形成するためには、児童期からのコミュニケーション能力は非常に大切なのである。

では、私たちがよく耳にする「コミュニケーション」とは、本来どのようなものなのであろう。コミュニケーションには、言葉や文字を利用した「言語によるコミュニケーション」と身ぶりや顔の表情、声の抑揚を利用した「非言語によるコミュニケーション」がある。また、それらのコミュニケーションは、学校や家庭など、多様な場面や集団の中で活用されている。そこで、私は、児童にとつてどのようなコミュニケーション能力が必要であるのかをいくつか定義することにした。

- ① 意志や感情を互いに理解し合う能力
- ② 感情に気を配り信頼関係を築く能力
- ③ 他者との関わりを通して行動していく能力

これらのことから、児童のコミュニケーション能力を育成するために、言語ではなく音楽を使い、さらに「リトミック」という音と身体を主とした音楽教育法を、どのように活用することができるだろうか。

リトミック

リトミックとは、スイスの作曲家である「エミール・ジャック＝ダルクローズ(1865～1950)」
図①によって開発された身体の動きと音楽を一体化する音楽教育法である。また、身体を動かしながら、リズムや音楽を体験することによって、音楽だけでなく心も豊かにすることを目指す教育法でもある。リトミックの中には、3つの柱が存在している。



図①
エミール・ジャック＝ダルクローズ
出典：ウィキペディア

- ① リズム運動：音楽の諸要素（リズム、強弱、速さ、ニュアンス、拍など）を、身体の動きを通して感じ取る。
- ② ソルフエージュ：音の高さやメロディー、拍子を身体の動きや指揮を通して感じ取り、内的聴

覚を養う。

③即興演奏：：身体の動きや多様な楽器、声を用いて即時に表現し、演奏したりアンサンブルをする。このように、リトミックは、身体全体で音楽を学び、音楽の知識や演奏表現を身につけていく。

リトミックの活用

さらに、リトミックでは音楽と身体を一体化させるとともに、同じ空間にいる集団の中で、音や音楽に対する感情やイメージを共有し合い、身体の動きを通して、一体となった音楽を創り上げることが大切である。ダルクローズは、「(リトミックは)数多の個々人の感情表現の犠牲を代償に、内的感情を共同で表現することを可能にしてくれる」と述べている。ひとつの音楽を聴いて、その音楽に対する感情や意志は人それぞれである。また、自分の音楽に対する感情や意志を、言葉にしてしっかりと相手へ伝えることは難しい。したがって、私は、自分が感じ取った音楽を言語で伝えるよりも、自らの身体で表現したり、楽器を使って音にしたりして伝え合うことによつて、お互いの音楽に対する意志や感情を理解しながら、統一された音楽を作ることができないのではないかと考える。

リトミックの活用

ある小学校にて、音階を使ったリトミック活動を行ったときのことである。全員でひとつの大きな輪になり、8拍の前進(音階の上行形を歌う)と8拍の後進(音階の下行形を歌う)を繰り返して行った。さらに、音階の最高音で、仲間と手を合わせることが加えた。すると、手を合わせることに対してワクワクする気持ちや、手を合わせた後の仲間と離れた感じが、自然に音階の歌い方や前進、後進の仕方によって表現されるようになった。例えば、前進するときには、早く仲間と手を合わせたいという気持ちから、声が次第に大きくなり、ステップの動きも大きくなった。反対に、後進するときには、手を合わせ、仲間と離れて個人になる寂しさを、声やステップの動きが次第に小さくなる様子で表現されていた。そして、お互いのステップや歌い方を認識することで、仲間と合わせることも意識されるようになった。このように、ひとつの音楽と身体の動きを集団で共有することによつて、他者との関わりが多くなり、お互いの感情は身体の動きによつて理解し、共有し合えるようになるのである。*図②



図②

おわりに

研究を通して、児童のコミュニケーション能力を育成するために、リトミックという音楽教育法は有効的な手段であるということを変更して考えることができた。例えば、発言をすることが苦手な児童は、自分の意志や感情を、楽器の音や身体の動きによつて、自己を表現することがができる。また、言語で伝わりにくい意志や感情も、音や動きで表現することで相手は理解しやすくなる。言語だけではなく音や身体の動きも利用して、ひとつの音楽に対する意志や感情を伝えあうことは、より仲間と共有することを感じるとともに、統一された集団を形成することができると考える。現代、学校教育の中でも、児童

のコミュニケーション能力の欠如による問題は大きく取り上げられている。児童たちは学校という集団の中で、自己を表現する力や相手を思いやる力をつけることができれば、よりよい人間関係を形成していくことができる。私は人間関係の形成を学ぶ場である学校において、リトミックという音楽教育法を取り入れ、児童がのびのびと自己を表現し相手の気持ちを理解していけるよう、これからリトミックによるコミュニケーション能力の育成について追究していきたいと考えている。そして私自身においても、リトミックを通して多くの人と関わりを大切にしていきたい。

参考文献

- *ジュリア・ブラック、ステファン・ムーア(著)神原雅之(編訳)『リズム・インサイド』西日本法規出版、2002(請求記号●J96-825他)
- *ヴァージニア・ホッジ・ミード(著)神原雅之、板野和彦、山下薫子(訳)『ダルクローズ・アプローチによる子どものための音楽授業』ふくろう出版、2006(請求記号●J107-757他)

- *エミール・ジャック・ダルクローズ(著)板野平(監修)山本昌男(訳)『リズムと音楽と教育』全音楽譜出版社、2003(請求記号●J97-854他)

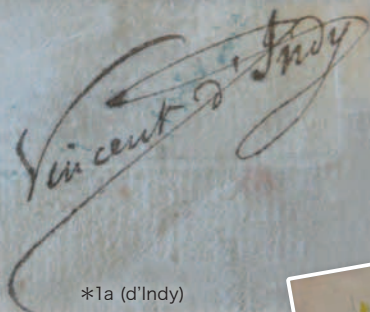
●さがわ じずか リトミックを通して、たくさんの幸せを感じています！井上恵理先生、馬淵明彦先生、
筋川玲子先生、塩原麻里先生、コース生たち、国音の仲間、先輩や後輩！心よりお礼申し上げます。

ダンディ、マスネ、 そしてピカソの署名入り本

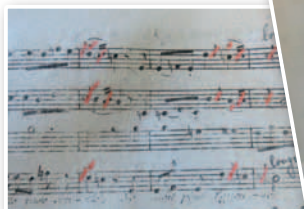
*4 (Picasso)

長谷川 由美子

●はせがわゆみこ
遺族にとつては始末に困る献呈本…マスネのきどつた署名を見ながら断捨離に思いを馳せる。
●この資料は貴重書につき、利用に制限があります。



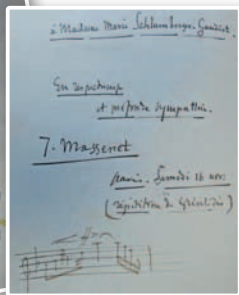
*1a (d'Indy)



*1b



*3



*2

自筆資料、この魅惑的な響きは世の図書館、博物館、好事家を色めき立てる。新一号館の壁を飾っているロシーニやベッリーニ、そしてボンキエリ等の自筆譜をご存じだろう。クニタチは自筆譜以外にも署名入りの資料を所蔵しているが、18世紀の楽譜には真正な出版物だという証明に作曲家のサインが入ることがあった。今回紹介するのは単なるサインではない、一味違った資料である。

ヴァンサン・ダンディは19世紀フランスの作曲家で、彼の「フランスの山人の歌による交響曲」はよく演奏されている。モンシニの《脱走兵》1769年作曲のスコアはダンディの所蔵した楽譜である。(*1) タイトルページの下に彼の署名がある。(*1a) 端正な筆跡である。このスコアには署名だけではなく曲を指揮した際の書き込みがかなりのページに見られる。(*1b) 書き込みは「生き生きと」とか「レント」のような速度記号や、印刷上間違い(間違つたテノール記号をト音記号に訂正。臨時記号の付け忘れの訂正)のみならず、部分の削除にも及んでいるが、全体として非常に特徴のある指示は、前打音や後打音のカットであろう。これはほぼすべてのページに見られる。反対にトリルや装飾音の付け足しも行われている。ダンディの活動は、学術的見地ではなく、実践的な目的の為であったと評されているが、それが指揮で用いた楽譜に如実に表れている。

次に紹介するのはマスネの献呈の入った自身のオペラのヴォーカルスコアである。マスネの献呈辞入り楽譜は合計5点あるが、そのうち2点にはマスネのサインとともにオペラのひと節がさらっと添えられている。

オペラ《グリセリディス》に書かれた献呈(*2)「マリー・シュルンベルガー・ゴディオ夫人に。尊敬と深い共感をもって。J.マスネ。パリ、土曜日11月16日(グリセリディスの練習)」という言葉の後に、1幕目にあるグリセリディスの最初のアリアからひと節が添えられている。この言葉は初演の練習に立ち会った際に記されたものであろう。初演は1901年11月20日であった。

オペラ《ケルビン》に書かれた献呈(*3)「一人の女性… J.マスネ。1月、1911」

タイトルページに書かれた献呈である。添えられた楽譜は第2幕8場にある主役のケルビンが歌うアリアである。この献呈には相手の名前がない。しかし選ばれた歌詞(Une femme)から想像して相手はたぶん女性だったのではないと思われる。

ピカソのカルメン！この本は『カルメン・デ・カルメン』と題されたメリメ作《カルメン》の豪華絵本である。(*4) ビゼーのオペラではない。ピカソによる様々な顔をモチーフにした版画や、墨色あるいは彩色された絵が入る。1948年に一度出版されたのち、1964年に再度出版された。当館所蔵本にはオリジナルの版画が5枚付く。そして最後にやわらかい赤い色鉛筆で彼のサインがある。(*4) 近い将来、展示で皆さんにお目にかける予定にしている。

紹介した貴重書

- *1a Monsigny: Deserteur. Paris, Deslauriers, [bet. 1775-91] 請求記号●M3-040 (S10-182)
- *1b Monsigny: Deserteur. Paris, Deslauriers, [bet. 1775-91] 請求記号●M3-040 (S10-182)
- *2 Massenet: Grisélidis. Paris, Heugel, c1901 請求記号●M3-036 (S10-146)
- *3 Massenet: Chérubin. Paris, Heugel, c1905 請求記号●M3-035 (S10-141)
- *4 Picasso: Carmen des Carmen. Paris, Editieurs Grancais Reunis, 1964 請求記号●M7-693 (S0-570)

バッハ《ロ短調ミサ》 日本初演

矢田部 勁吉

国立音楽大学名誉教授

1896.3.27 (明治29) - 1980.11.26 (昭和55)

「敢えて演奏しようとするのは、即ち此曲が実に言語を絶した、美しさをもち、力を持ち、又宗教を持つからである。まことに言語を絶して居るからである。」*1



写真出典 『国立音楽大学演奏の80年史』

染谷 周子

昭和5年6月から、新聞紙上に東京高等音楽学院(現・国立音楽大学)のスキヤングラスな記事が何度も掲載される。創立間もない学院にとつては存亡の危機である。内実は学院長と経営担当・教員との経営に関するトラブルから派生し、学生、父兄とも巻き込んだ内紛となった。そのため、学院は6月から3ヵ月間休校。紛争は8月末に渡邊敬学院長は辞任、中館耕蔵幹事等は辞職で収拾した。しかし、学院長に賛同した学生は退学して、帝国音楽学校*2に移っていった。9月から三室戸敬光学院長のもと新たな出発をする。しかし、学生数は半減、学校経営は困難を極める。

この時期に、声楽の教員矢田部勁吉は、バッハ《ロ短調ミサ》の日本初演を企画する。

「昭和5年の頃、何かと学校に問題があつて、学生達が落ち付かなくなつたので、全校あげて、意気をあげるため、バッハのHモルメッセを勉強する事にいたしました。(略) 全曲を1回で通すのは心配だったので、2回にわけました。(略) 寝食を忘れてと云いたい此猛練習は幸なことに全校挙げでの共同作業となり全校の意気正

に昂然として高まつたのです。」*3 矢田部はドイツ留学中に、3人の指揮者による《ロ短調ミサ》を5回聞いている。

「私は此私の最も愛するバッハの崇高なるミサを、私自身演奏する境遇になつた事を感謝して居る。同時にこの寶玉を寶玉として諸君の前に演出出来るよう祈つて居る。」*4

昭和6年3月18日「第1回バッハ記念大演奏会」が開催される。この初演に対しての批評は非常に厳しいものであつた。しかし、学院は、9ヵ月後に「第2回バッハ記念大演奏会」を開催する。

「今春のシーズンで第1回バッハ記念演奏会を開催して吾が楽壇及び宗教音楽界に多大のセンセーションを喚起した国立・東京高等音楽学院では前回の過酷な各方面の批判にもひるまず、敢然其の第2回を12月23日夜日本青年館に開催することとなつた。」*4

平成24年1月15日に80年振りにバッハ《ロ短調ミサ》が演奏された。80年前の先輩たちは学院を再建するために、果敢に日本初演に挑戦した。平成24年の演奏は、バッハの考え方に忠実なバッハ研究の

成果がみごとに結実した演奏会となった。

矢田部勁吉(やたべけいきち)は明治29年東京に生まれる。大正8年東京音楽学校(現・東京藝術大学)卒業。同年研究科に入学後、四重奏団「沢崎クワルテット」に参加。大正11年ドイツ、フランスに留学。大正15年武岡鶴代(声楽)、榑原直(ピアノ)、渡邊敬(宗教学)、中館耕蔵(経営)ら5人で本学院を創立。声楽、合唱を指導し国立音楽大学の声楽の基礎を作りあげる。昭和初期から日本の名バリトン歌手として活躍。昭和55年84歳で亡くなられた。

国立音楽大学はその輝かしい業績と栄誉を讃え、昭和57年度に矢田部賞を制定。現在、卒業に際して優秀な成績をおさめた男子学生に授与されている。

◆ 参考資料

- ◆ 加藤拓木「日本における《マタイ受難曲》の初演」『音楽研究 大学院研究年報 第十六輯』国立音楽大学 (2004) (請求記号●PB102D 16)
- ◆ 「譜」時の調べにのせて 国立音楽大学の70年 国立音楽大学1906 (請求記号●C61-723)
- ◆ 「国立音楽大学 演奏の80年史」東京高等音楽学校 国立音楽学校時代 1929年-1950年3月 国立音楽大学 (2007 (請求記号●J110-790))

● そのほか、学院の経営が困難であつた時期、教員、学友会、後援会が丸となって学院を援助する。その愛校心に感動。

*1 矢田部勁吉「バッハの崇高なるミサ上演に際し」『音楽世界』3巻3号 p.92-95 1931 (請求記号●MFC3350 3 (3))
 *2 帝国音楽学校：世田谷に昭和3年に創立。一時期、学院が教員を派遣して援助する。
 *3 嵯峨灰彦「寸椿」『広報くにたち』39号 1980 (請求記号●P959 39) 嵯峨灰彦は矢田部勁吉の別名
 *4 「音楽界消息」『音楽新潮』9巻1号 p.93 1932 (請求記号●MFC0356 9 (1))

図書館のら・ご・き

◇自由閲覧室のこと

PC席と無線LANを敷設し、机を入れ替えたのが、2009年でした。昨年（2011年）の夏には、床に絨毯を敷き、カーテンをブラインドに交換、壁を塗り替え、すっかり古かった自由閲覧室の修繕を行いました。国立音大ならではの開架図書コーナーのため、壁面には新しく書架を設置し、開架図書にはICタグを貼付、利用者自身で貸出を行う自動貸出機を設置、持ち出し防止ゲートと連動するようにしました。当初は、誤作動もありましたが、機械の調整を行い、今は安定的に作動しています。その後、グランドピアノを設置することもでき、朗読会、テーマ別ガイダンスなどの開催に活躍しています。

図書館は大学内の施設としては4番目に建設されていますので、すでに築40年以上を経過し、当初の設備も古くなってきています。外回りはなかなか新しくできませんが、内側では、少しずつの修繕と設備の交換などを行い、少しでも快適な空間となるよう努力しています。

◇映画コレクション(DVD)のこと

図書館の選書方針としては、音楽に関連する映画として、例えば、ミュージカル、オペラの映画版、音楽家を扱った映画などは収集してきました。ディズニー作品、ジブリ作品などもこの方針のなかでの購入でした。昨年度は、この選書方針を見直し、映画音楽の観点から、映画そのものを収集することにしました。今までは、映画のサウンドトラック盤のCDを購入していましたが、やはり、映画音楽は映像があってこそその作品であろう、という考えからです。とは言っても、映画作品をすべて購入することはできませんので、何らかの選択基準が必要です。図書館委員会の先生方とも相談の上、まずは、卒業生の作品を収集することにしました。第1弾として「佐藤勝（昭和26年3月卒）」「久石譲（昭和49年3月卒）」両氏の作品を購入しました。第2弾以降は未定ですが、今後も卒業生作品を中心に収集していく予定です。

※第1弾の映画コレクション購入費用は図書館のための寄付金の一部を充当させていただきました。

◇督促メールのこと

昨年9月から、学内メールアドレスが発行されている本学の学生、教職員には、延滞資料の返却督促を「はがき」から「メール」に切り替えました。しかし、残念ながら、督促件数が増えてしまいました。原因は、どうも、「メールに気づかない」「メールの確認方法がわからない」ということで、資料の延滞に気づきにくくなってしまっているようです。

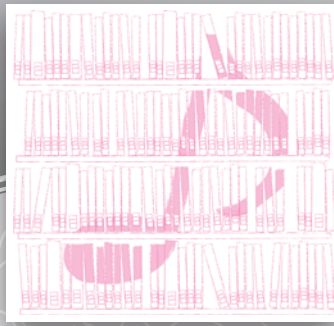
改めて、以下のURLにアクセスしてメールの確認をしていただくことをお願いします。

- 教職員：（パソコン等からメールを見る場合） <http://ghome.kunitachi.ac.jp>
（携帯からメールを見る場合） <http://gmail.kunitachi.ac.jp>
- 学 生：（パソコン等からメールを見る場合） <http://home.st.kunitachi.ac.jp>
（携帯からメールを見る場合） <http://mail.st.kunitachi.ac.jp>

※予約中の資料が返却されたお知らせもメールに切り替わりました。取り置きは1週間ですので、こちらの確認もお忘れなく。

※メールのユーザ名とパスワードが不明な方は、6号館地階のネットワーク担当（042-535-9671（直通）、内線650）まで、お問い合わせください。

主任司書 松浦淳子



本が私を呼んでいる…古川聡●1
Welcome to our library 図書館を知ろう OPACを使いこなそう…●2
かくれキリシタン ~「弾圧と潜伏」の時代に「信じる心」が生み出した奇跡~ …小泉優莉菜●6
当館 貴重コレクションの紹介『プロイセン国王フリードリヒ2世遺作集』全15巻(1788)…佐藤真一●8
ピープル・びーぶる ㊤ 中館耕蔵 元国立音楽大学理事長 1895.9.3-1982.8.21…柴谷周子●9
楽譜ランド⑩『Klassische Meisterwerke zum Kennenlernen』Schott社のシリーズ…田村和子●10
図書館と著作権と資料の複写(その4)…●11
図書館のう・ご・き…松浦淳子●12
2010年度 ぱららんど総目次…●13
CD/BOOK…正村恵・木元佐代子・佐藤香織●14
Information…●16

270

図書館と私…塩原麻里●1
ケッヘルって何?…曾根雅俊●2
地震と図書館 一震災文庫を眺めて…撰正弘●3
平成23~24年度 図書館委員のご紹介…●4
KCML / OPACについて ㊥…●6
図書館と著作権と資料の複写(その5)…●7
図書館のう・ご・き…松浦淳子●8
館長室へようこそ ①…古川聡●9
Fresh 2011…柄田明美●9
Library Data 2010…●10
CD/BOOK…矢島未知子・恵須川理津子・山本麻衣●14
Information…●16

271

「文化を求める心」の再生…田中延男●1
Parlando Interview ああこういう音楽がしたい!…山本英助先生 きき手・市川利次…●2
図書館委員の先生からのおすすめ ~このDVDあの図書~ ⑥…●6
Rhythm is it! = ベルリン・フィルと子どもたち/井上恵理
対話録「さすらい人」 プレンデル/江澤聖子
永遠に残る一瞬…大関学●7
図書館員のノートから 参考図書のご紹介 ㊦
ゲート時代のワイマール宮廷楽団で使われた楽譜たち…小関康幸●8
ピープル・びーぶる ㊧ ボビー・マクファーリン…高田涼子●9
図書館と著作権と資料の複写(その6)…●10
雑誌の部屋 ①…●11
図書館のう・ご・き…松浦淳子●12
館長室へようこそ ②…●13
図書館のう・ご・き~続き~…●13
CD/BOOK/楽譜…小竹真鈴・瀧川幸裕・齋藤卓●14
Information…●16

272

ある音楽コレクションの歴史をめぐって…久保田慶一●1
フランス革命下の音楽…2011年度国立音楽大学音楽研究専修
研究発表会(音楽学研究コース・音楽情報社会コース) 専門ゼミ I II…●2
図書館委員の先生からのおすすめ ~このCDあの図書~ ⑦…●4
心に寄り添う2楽章のカ/藤山真美子
革命下のバリに音楽は流れる/沼口隆
ベルリン・フィル デジタル・コンサートホール体験記…伊藤陽子●5
図書館員のノートから 参考図書のご紹介 ㊧
「作品目録」「主題目録」と作品の番号~楽曲を特定し、詳しく知るために~…市川啓子●6
新1号館: サインパネルに使用された当館の貴重楽譜…●8
図書館と著作権と資料の複写(その7)…●10
雑誌の部屋 ②…●11
図書館のう・ご・き…松浦淳子●12
館長室へようこそ ③ ランガナタンの図書館学の五法則…古川聡●13
館員からのおすすめ 半徑5メートル物語…河田篤子●13
LD/Book…平野柚香・涼松育子・齋藤麻里●14
Information…●16

273

KCML OPAC について⑥

▼資料の貸出継続機能

OPACの利用状況画面から資料の貸出継続手続きが2回までできるようになりました。利用状況画面の「貸出中」タブに「延長」という欄が追加され、継続して借りることが可能な資料については、ここに「延長」ボタンが表示されます。ボタンを押すと、その場で返却期限が延長されます。

インターネットのWebOPACからも利用できますので、資料を図書館に持参しなくても継続手続きが可能です。(WebOPAC : <https://www.lib.kunitachi.ac.jp/wopac/Webopac.html>)

ただし、以下の場合は、OPACから継続手続きを行うことができません(=ボタンが表示されません)。

・延滞中の資料が1点でもある場合

⇒ 借りている全ての資料が継続できません。延滞中の資料を返却してからご利用ください。

・返却期限が当日の場合

⇒ 当日貸出および館内利用の資料は継続できません。その日のうちに返却してください。

・継続しても返却期限が変わらない場合

⇒ 資料を借りた当日、継続した当日、長期貸出期間中など、継続しても返却期限が同じ日になる場合は、延長ボタンが表示されません。

・借りている資料に別の人の予約が入っている場合

⇒ 予約の入っている資料は継続できません。返却期限内に返却してください。

・2回以上継続を行っている場合

⇒ 手続き方法(OPAC / 来館)にかかわらず、既に2回以上継続を行っている資料については、OPACからは継続できません。引き続き利用したい場合は、学生証・教職員証・図書館利用証と資料を貸出カウンターにお持ちください。

* OPACからは、教育実習や卒論・修論のための特別な期間延長はできません。貸出カウンターで手続きを行ってください。

請求記号	登録番号	タイトル	貸出日	返却期限日	予約数	延長
1 C0-001	C000001	Tonreich und Symbolzahi in Hochkulturen...	2012/02/20	2012/04/13	0	延長
2 J100-001	J100001	The Harvard dictionary of music / edited b...	2012/02/07	2012/04/12	0	延長
3 SH00001	L000887	新潮文庫の100冊	2012/02/07	2012/03/01	0	延長
4 XD1	XD000001	Symphony no. 9 in D minor, op. 125 録音...	2012/02/07	2012/04/12	0	延長
5 G0-001	G000001	Cantiones Gregorianae [印刷楽譜] / Jose...	2012/02/07	2012/04/12	1	
6 A0-001	A000001	Adam de la Hall	2012/02/20	2012/02/20	0	
7 VE1	VE000001	Le nozze di Figaro 映像資料1 / Wolfgang...	2012/02/20	2012/02/20	0	

西武鉄道玉川上水駅の構内、ホーム上の待合室向かい側の線路脇に木製の杭が埋められており、白地に黒色で数字の0が書かれているのをご存知だろうか。0キロポストと呼ばれ、路線の長さを測る起点であり、運賃を決める基準となっている。鉄道会社としては重要な設備の一つである。だが、少し鉄道に詳しくければ、拝島線は小平駅から拝島駅までであり、途中駅に0キロポストがあるのは変だと考へる。これは西武鉄道拝島線延伸の歴史と関連が深く、玉川上水まで開通していた路線を拝島まで延長させるにあたり、線路の付け替えが必要になったことから、ここに0キロポストを設置したというのが真相のようである。

さらに細かく言えば、小平駅の0キロポストは萩山駅を経由して西武遊園地駅まで、小川駅にある0キロポストは萩山駅までと玉川上水駅までの上下方向の二つの意味がある。始発駅である西武新宿駅から玉川上水駅まで乗車すると、四つの0キロポストを線路脇に見ることができるとは。何気なく乗っている電車であるが、車窓やホームから見えるさまざまな物から知らなかった世界が開けてくる。

今年も多くの新入生を迎えることができた。新入生にとっては卒業までの一四〇〇日余りの大学生活のスタートで、ひとりひとりの人生に何個目かの0キロポストが今、埋められたことになる。同じ列車に乗っている多くの乗客と有意義な交流を図り、美しい音楽を聴き演奏しながら、あるいは本を読みながら、たくさんの風景を心に残してほしい。時には悪天候で止まってしまったり、故障して後戻りすることもあれば、小さな駅は通過して目的地に急いだり、到着した駅で大歓迎を受けたりすることもあるだろう。そのひとつひとつをしっかりと心に刻み、自分らしい路線を着実に伸ばしていつてくれることを期待している。

KCML OPACについて⑥ ~続き~

▼自由閲覧室の開架図書と自動貸出機

昨年から自由閲覧室に開架図書コーナーが設置され、文庫本、推薦図書、語学の多読本、《今月の葉》が並んでいますが、文庫本の情報をOPACでも検索できるようになりました。OPACの所蔵情報では「自由閲覧室開架」と表示されますので、直接書架から取り出してご利用ください。貸出中の場合は予約も可能です。



自由閲覧室の開架図書の貸出は、室外の入口脇に設置されている自動貸出機を使用してご自身で行っていただく方式になっています。資料を所定の位置に置いた後、学生証・教職員証・図書館利用証をスキャンして手続きしてください。貸出が完了すると貸出票が印刷されます。

資料の返却は返却カウンターで行います。

音楽は図書館から。

演奏学科声楽専修 平成23年度卒業

出井則奈

図書館の資料は、多くの興奮と感動を与えてくれる。

入学して数日後、図書館を利用するようになった私は、まだ歌手の名を多くは知らなかった。そこで、当時好きだったメゾソプラノのカサロヴァと検索しては次から次に視聴していった。そうするうちに、なんとコロラトゥーラの女王グルベローヴァとカサロヴァの二重唱のCDと出会った。そのCDを聴いた瞬間、極上の料理を食べた時と同じような興奮を味わった。そのことを今でもはつきりと覚えている。そして、その日から私はグルベローヴァと検索するようになり、彼女の資料を次から次へと借りる日が続いた。今となつては懐かしい大学生活の思い出の一つだ。

グルベローヴァとカサロヴァの二重唱は、絶品である。絶妙な歌声のハーモニーは、CDを聴いている私に、二人の歌っている表情や仕事が見えてくるほどだ。実力者二人の相乗効果が生み出した二重唱なのだ。

そして、このCDの選曲がまた素晴らしい。中でも、ドヴォルザークの《モラヴィア二重唱曲》をチェコ語の歌唱で聴けることだ。この曲

は、ドヴォルザークの名が一躍世に知られるようになった作品といわれている。一曲一曲、詩の内容は趣深く、音楽はそれにも増して次の展開に胸が躍る。あの有名なスメタナの《ブルタヴァ（モルダウ）》のように、このドヴォルザークの《モラヴィア二重唱曲》もチェコの空気を漂わせている。短い曲の中には、時にドラマチックで時に明るいユーモアがあり、何度聴いても飽きることがない。

さらに、このCDにはブラームスの深みのあるハーモニーと民謡風の楽しい歌、シューマンのたつぷりと詩の世界に浸ることができ、メンデルスゾーンの明るく新鮮な輝きに満ちた春の歌が収録されている。

このCDを食事にも例えるなら、最後のお楽しみデザートは、なんとおいしいことか。ロッシェニ作曲といわれている猫の二重唱が聴けるのだ。わお、この二匹の猫の歌唱レベルの高いことといたら、感激である。



請求記号●XD45665
麗しの二重唱／グルベローヴァ
&カサロヴァ Nightingale
Classics KKCC-4322 (日本)

●でいのりなねこはともマイベース。自分の思った通りにのんびりゆったり生きているねこに、感心しちゃったりしはば。

10年ぶりの再会

音楽教育学科幼児教育専攻 平成23年度卒業

小形桃子

皆さんは『月刊Piano』という雑誌をご存知ですか？この雑誌は、その月にヒットした曲をピアノで弾き語りすることができる音楽雑誌です。

私が、雑誌『月刊Piano』の存在を知ったのは中学1年生の時でした。音楽の授業が始まるため教室を移動している時に、ふと、音楽室からキラキラとしたピアノの音が聞こえてきました。その音に誘われて教室の中へ入ると、当時流行していた「モーニング娘。」の《LOVEマシーン》をとにかく元気一杯にパワフルに弾き語りする友人の姿がそこにありました。その、思わず踊りだしたくなるような楽しい音楽に、自分を含む他のクラスの子たちはもつと間近で見聞きたい！と、いつしかグラッドピアノの周りに群がっていました。そして、その時初めて私は、クラシックだけじゃないPopsという新しいピアノの世界を知り、衝撃を受けたのです。すかさず、魅力的なピアノ演奏をしていた友人に、どんな楽譜に載っていたのかを尋ねると、その楽譜というのがズバリ！『月刊Piano』でした。その日を境に、自分も周

りの人に感動してもらえらるピアノ弾き語りができるようになることをめざして、この雑誌をチェックするようになりました。

図書館にも有り難いことに、この雑誌が置かれており、その在り処は「雑誌コーナー」という小部屋のような空間です。この空間の棚にある『月刊Piano』はその月のもの1冊となりますが、実は1996年〜2012年3月現在にかけてのバックナンバーも在庫しており、借りることが可能なのです。ということは、例の《LOVEマシーン》が載っている年代のものもある！ということ、早速借りてページを開くと、ふわあ〜つとあの懐かしい演奏の記憶が色鮮やかに蘇ってきました。と同時に、10年ぶりの再会を果たすことができたことに幸せを感じました。そして、今後もこの『月刊Piano』を愛してゆこう！と改めて強く思いました。



請求記号●P1785 / 43
『月刊Piano』通巻43号 1999(平成11)
年12月 ヤマハミュージックメディア

●おがたももこ 雑誌コーナーのおおきな窓から眺められる、生い茂った竹やぶの葉のさらさらと風に揺らめく様子は、国音オーストンのパワースポットです。

CD

たまには、クラシック 日本の古典音楽でも！

演奏学科鍵盤楽器専修ピアノ 平成23年度卒業

山崎貴子

《越天楽のすべて》…今回ご紹介するCDのタイトルです。何だかすごいタイトルですね。「越天楽」は日本の伝統音楽の雅楽で最もポピュラーな一曲です。雅楽と聞くと、どの曲も同じように聞こえて何だか眠くなりそう…と思われるのですが、そんな雅楽曲が実は様々なジャンルの音楽に編曲されているのをご存知でしょうか。

雅楽「越天楽」には平調（最も有名な調性のもの）、黄鐘調、盤渉調と実は3曲あり、もちろんこのCDにも収録されています。その他、越天楽に歌詞をつけた越天楽今様や民謡（黒田節）、謡曲、箏などの器楽向けの曲、なんと讃美歌やオーケストラ曲といった音楽にもアレンジされているのです。パリ木の十字架少年合唱団による天使のような歌声の今様は、心が洗われます。

収録曲の中に、『盤渉調「越天楽」によるピアノのための主題と変奏』というピアノ作品があります。松平頼則によってピアノと管弦楽のために作曲され、後にそれをピアノソロ用に編曲されたこの作品は私のお勧めの一曲で、以前挑戦した曲でもあります。主題で盤渉調の越天楽を忠実に提示し、6つの変奏曲が展開され、最後

に主題の再現が現れて曲は終わります。雅楽で使われる笙・箏・龍笛・琵琶・箏の各旋律が、主題でほぼ原曲通りに書かれています。それをピアノで弾いてみるととても繊細で、あの雅楽がこうも変わるのだなと感心したものです。各変奏では、華やかで装飾的なものやブギウギのリズムに則ったもの、暗い夜を思わせるような静謐な曲想のものなど、とても雅楽が元になったとは思えないような様々な顔が展開され、聴いていて楽しんでいただけるとは思いません。うか。今より雅楽が盛んであつた平安の世の人々が耳にしたら、どのように思うでしょうか。このCDでは曲が抜粋されているので、原曲のピアノと管弦楽版を合わせて聴いていただけたらと思います。

雅楽からインスピレーションを受けて作られた作品は意外と数多く、お勧めしたい曲はこの他にもたくさんあります。世界最古のオーケストラと言われる雅楽。一三〇〇年以上受け継がれてきた音色に、そしてそこから新たに生み出された様々な音楽達に耳に傾けてみてはいかがでしょうか。



請求記号●XD50794
越天楽のすべて King:
KICG 3076

●やまざき たかこ iPodが雅楽と長唄でいっぱい。本当にピアノ科？と言われていましたが、日本音楽を仲間と演奏した学生生活はとて有意義でした！

基礎ゼミ体験実習・図書館

新入生のための基礎ゼミ体験実習が、学科別に4月5日(木)～6日(金)に行われます。この期間は、全館を使つての実習となりますので、図書館は閉館いたします。

住所変更は？

春は引越しの季節ですね。住所が変わつた方は、図書館に住所変更の手続きをお願いします。

TACを利用しよう

OPACをみても見つからない資料はありませんか。あきらめないで、TAC加盟館(ICU、東京経済大学、津田塾大学、武蔵野美術大学)の図書館資料をTACOPACで調べましょう。所蔵していればTLLサービス(図書館間貸出)が利用できます。通常、申込から1週間位で資料が到着します。詳細はメインカウンターでお尋ねください。

卒業生の方へ

図書館は卒業してからも登録すれば利用できます。利用の種類や方法については、「図書館ガイド」卒業生利用者用をご覧ください。詳しくはメインカウンターでお尋ねください。

OPACでの継続手続き

OPAC(WebOPAC含む)での資料の貸出継続手続きが2回まで可能になりました。利用状況画面の貸出中リストを開き、「延長」ボタンをクリックすると返却期限を延長できます。

書庫内資料受付時間の延長

今年度、書庫内資料受付時間を延長します。通常開館時(8:50-19:00)の受付時間は2階

(楽譜・図書・雑誌)が18:10まで(昨年度は18:00まで)になります。土曜日(8:50-17:00)の受付時間は1階(AV資料)・2階ともに12:30まで(昨年度は1階が11:50まで、2階が12:00まで)になります。

オンラインデータベース利用可能端末について

オンラインデータベースは自由閲覧室端末からのアクセスを停止し、参考図書室のみでご利用いただくことになりました。楽曲・映像配信サービスは自由閲覧室端末とAV多目的室端末でご利用いただけます。

オンラインデータベースに関するお知らせ

- ・Britannica Image Quest(写真・イラスト)を追加しました。
- ・Classical Scores Library: Volume II(楽譜)を追加しました。
- ・NICHIGAI/WEBサービスのWHO IIIはWHOPLUSに移行しました。

映画DVDコレクション

映画コレクション(DVD)を、自由閲覧室に設置しました。

今年の表紙は？

274号から表紙が変わりました。今年度は武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科3年の宮崎瑞穂さんの作品です。

作品についてのコメント

私は大学でデザインの勉強をしています。これはシルクスクリーン制作のためにつくった図案です。アネモネをモチーフにしました。花はひとつひとつサインペンで描き、可愛くあたたかい雰囲気の様相をつくりました。

テーマ展示 in ブラウジングルーム・AV資料室

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

2011年12月12日(月)～2012年1月27日(金)

金子みすゞ

2011年11月18日、《朗読の楽しみ 第2回》を開催しました。参加者アンケートで「次に聴いてみたい作家」として人気の高かった、金子みすゞに関連する図書や楽譜を展示するとともに、AV資料室では、みすゞの詩を基にした歌唱や朗読の録音資料を紹介しました。

1月30日(月)～3月16日(金)

卒業式ソング特集

みなさんが卒業式でうたった歌は何でしょうか？今回の展示では、長年卒業式で使用されている曲から最近人気のある曲まで、卒業式ソングの楽譜や図書、録音資料を紹介しました。

4月3日(火)～4月27日(金)

2012年度

「新入生基礎ゼミ・レクチャーコンサート参考資料展」

今年度のレクチャーコンサートでは、チャイコフスキー作曲《祝典序曲》、ラフマニノフ作曲《ピアノ協奏曲第2番》より第1楽章、ロッシェニ作曲の歌劇《セビリアの理髪師》より抜粋が演奏されます。図書館では、主にロッシェニと《セビリアの理髪師》に焦点をあてて、たくさんのお蔵資料の中から、図書、楽譜、映像資料など多彩な資料を選んで展示します。

ガイダンス

2011年10月12日(水) 古川聡先生ゼミガイダンス(専門ゼミII幼児教育・3年)

11月30日(水) 西原彰宏先生ゼミガイダンス(専門ゼミII幼児教育・3年)



Library Calendar

4

日	月	火	水	木	金	土
1	2	◆	◆			□
8	◆	◆	◆	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■ Parlando・Meadow・274号・April 2, 2012・Meadow・「語りかたのゆかりの道」・うぐいす味の楽想記号と■発行・国立国語研究所蔵書館■編集担当・河田篤子・宮部真由子■

◆ 閉館

◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は18:10まで) ◆ AV資料室 8:50～18:50 (受付は18:10まで)

◆ 土 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は12:30まで) ◆ AV資料室 8:50～12:50 (受付は12:30まで)

◆ 印 8:50～17:00 (書庫内資料の受付は16:50まで) ◆ AV資料室 8:50～16:50 (受付は16:30まで)

◆ □ は学内者のみ

*閉館時間の変更はその都度ホームページや掲示でお知らせします。学事予定により臨時閉館となる日もありますので、必ず事前に確認してください。